

南小たば風通信 2019

島村先生お疲れ様でした

「一年生に向けて物語を書こう」B書くことで授業が行われました。本時は、6時間扱いの4時間目でした。子どもたちが考えたあらすじをもとに、**題材が山場にあらわれているのか、物語の展開**などの悩みを相談する時間が設けられていて対話の目的がはっきりした授業でした。



【良かったところ】

- ・全体で交流の仕方を最初に確認していたことや良さについても意見が子どもからすぐ出てきていた。
- ・相談で題材とのズレに気づいて改善につなげていたので、交流に意味があるものになっていた。
- ・物語を作る時に心情があったほうが良いこととか出ていた。みんなのアイデアが沢山出ていてすごいと思いました。
- ・ワークシートがわかりやすく書きやすいと思いました。
- ・題材のメッセージ性が強いし、すごい。
- ・司会の子も意見を言う子もプレゼンの子もとても意欲的に取り組んでいたと思います。概ね、計画通り進んでいたのではないかと思います。6年生の成長を感じました。
- ・プレゼン資料や掲示物の準備お疲れさまでした。プレゼン資料は、わかりやすくよかったと思う。掲示物は、ちょっとごちゃごちゃしている感じがありました。
- ・りゅうみくんの「熊をばけもの・・・」のようないろいろな見方を提案していた人（ゆうりさん、しんじくん）が「あ〜」となっていたところで、アイデアが浮かんでいて、面白いと思いました。
- ・よりよいものが、黒板に整理されて提示されていて、よいと思いました。
- ・少ししか見ることができず、申し訳ありません。少しの時間でしたが、とても勉強になりました。落ち着いた中で指示や発問をされていて、素晴らしいと感じました。

- これまでの指導が生かされ、5つの構成内容がしっかりしていた。
- プレゼン後、質問を受けても困ることなく答えていたし、聞いた人からの意見も自分たちの考えを土台にして変更を受け入れていた。
- 何のためにこの作品を作っているのか考えさせる発問が効果的でした。
- 板書に時間構成、展開が示されていてよかった。
- 二つのグループの机間巡視で補充したほうが良い点などの助言が良かった。
- これまでのペア学習、そして今日のプレゼンで他者とのかかわりを通して学んでいる様子が見られた。
- もらった意見をメモすることができていました。二人のうち書く人、聞く人と役割分担をするのもいいと思います。
- ペアのプレゼングループの人数はいいですね。（2人プレゼン、3人聞く）発言回数の確保につながっていました。
- 板書を見れば何を話せばよいのかプリントに書いてあり、わかりやすかった。交流の中で作品を改善させることができていました。ペア交流は効果的でした。



【改善点】

- ゆうりさんが「相談内容」を聞いてほしいようにしていましたが、先生が「よいところ」を先にとりました。先に聞いてあげてもよかったのかな。と思いました。
- 交流する内容が盛りだくさん、各グループが意見をもらいたい部分をメインに絞り込むとよかったと思う。
- 振り返りの視点は、意見を出す側と作品を作る側の2方向から必要だと思いました。ここが評価の場面だと思います。
- 指導案に研究とのかかわりが記載されていると授業の見方も変わってくるのかなと思いました。
- 交流の仕方の説明の指示はもう少し、整理が必要だと思いました。
- 題材が一つだけの方が話し合いが活発になったのではないのでしょうか。
- 発言できない子に対して、グループ内でうまく声かけしたり、フォローする力も付けていくのもいいと思う。（担任からの声掛けは◎でした。事前に「司会の人は全員に発言してもらえるように工夫してください」等

♪島村先生お疲れ様でした♪